



# 2024年3月期 決算説明資料

2024年5月30日(木)

オーウエル株式会社 (証券コード:7670)



# 目次

---

1. 当社の概要	2
2. 2024年3月期 決算概要	4
3. 中期経営計画 <b>M/P</b> 24-26	14
4. 2025年3月期の業績予想と配当	32
Appendix	37

---

# 1. 当社の概要

---

# 当社の概要

工業用塗料販売で国内トップクラスのコーティング関連事業を主として、  
自動車向け半導体部品やソフトウェア等を扱うエレクトロニクス関連事業を  
グローバルに展開する生産財商社

商号	オーウエル株式会社 O-WELL CORPORATION
設立	1943年11月
所在地	● 本社:大阪市西淀川区御幣島5-13-9 ● 東京:東京都品川区北品川3-6-17
資本金	8億5,786万円
代表者	代表取締役社長 川戸 康晴
セグメント	● コーティング関連事業 ● エレクトロニクス関連事業
従業員数	連結:636名 (2024年3月末現在) [98名] ※ [ ]は平均臨時雇用人員で外数
関係会社	● 連結子会社:17社 ● 持分法適用関連会社:4社

---

## 2. 2024年3月期 決算概要

---

# ポイント

---

1

自動車生産台数が回復傾向で推移したことに伴い、  
増収増益

2

当期純利益については、投資有価証券の売却益を  
特別利益に計上したことにより過去最高益

3

期末配当は、普通配当22円に創立80周年の  
記念配当10円を加え32円とし、  
年間配当は、前期比15円増の42円を予定

# 決算実績サマリー

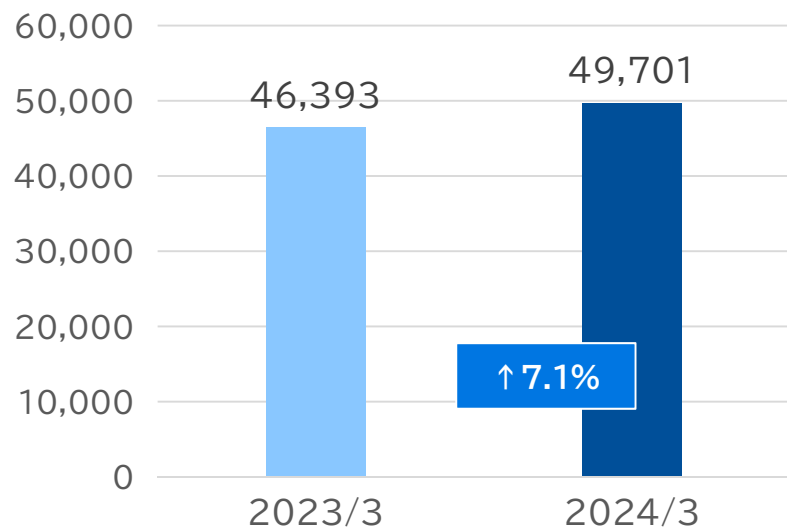
(単位:百万円)

	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想	2024年 3月期 実績	前期比 (差額)	前期比 (増減率)	予想比 (差額)	予想比 (増減率)
売上高	64,329	67,000	71,049	6,719	10.4%	4,049	6.0%
営業利益	691	1,000	930	238	34.5%	▲70	▲7.0%
経常利益	983	1,200	1,212	229	23.3%	12	1.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	650	1,400	1,526	876	134.7%	126	9.0%
一株当たりの 当期純利益(円)	63.79	137.32	149.37	85.58		12.05	
配当(円)	27 (中間7/期末20)	42 (中間10/期末32)	42 (中間10/期末32※)	15		—	

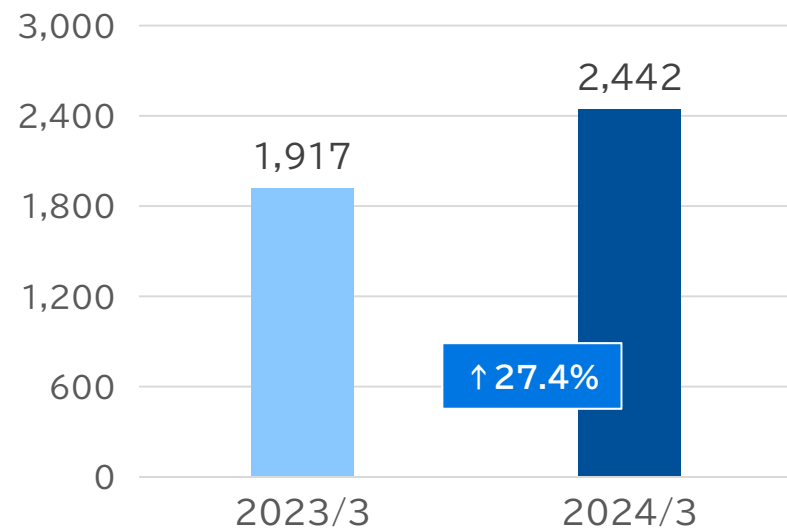
※期末配当の内訳  
 …普通配当22/記念配当10

# セグメント別動向 塗料関連事業

売上高 (百万円)



セグメント利益 (百万円)

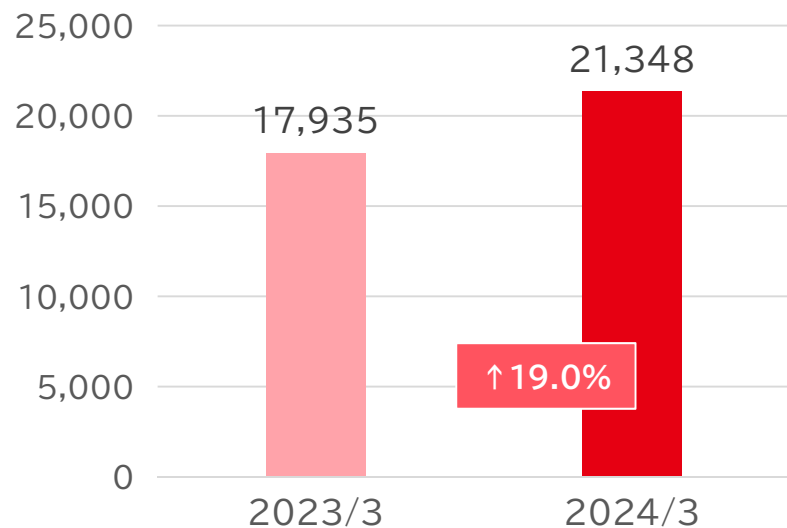


商品分野	増減要因
塗料・表面処理剤 化成品・物資	主に自動車メーカーの生産台数が前期比で増加
完成工事	塗装設備の完工による増加

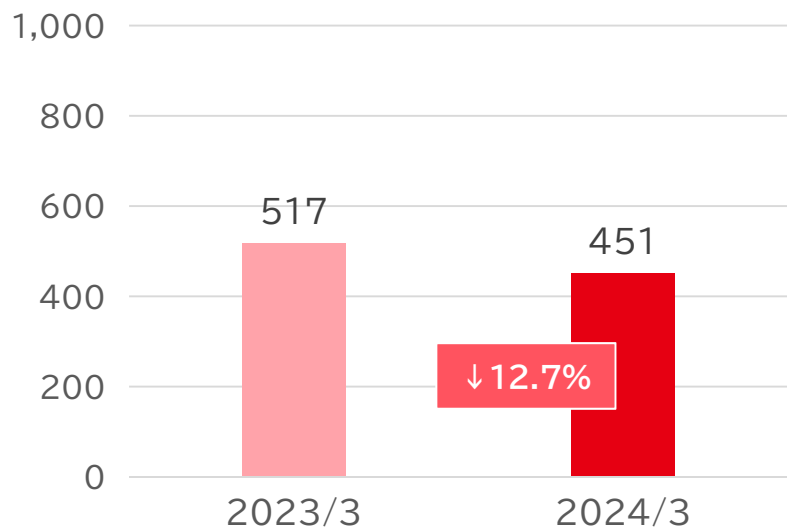


# セグメント別動向 電気・電子部品事業

売上高 (百万円)



セグメント利益 (百万円)



商品分野	増減要因
ホールIC(磁気センサー)	主に自動車メーカーの生産台数が前期比で増加、為替が円安に推移
ソフトウェア	販売は堅調に推移、一方で次世代カーナビゲーション用ソフトウェアの開発費の原価計上により、利益減



# 売上構成

## 電気・電子部品事業

30.0%

その他 1.4%

ソフトウェア 9.7%

ホールIC  
(磁気センサー) 18.8%

その他 6.5%

完成工事 6.0%

塗装ライン関連、内外装リフォーム関連工事

塗装・計測機器 2.6%

塗装に関連する機器の販売

## 塗料関連事業

70.0%

塗料・表面処理剤 41.3%

### 【工業用塗料】

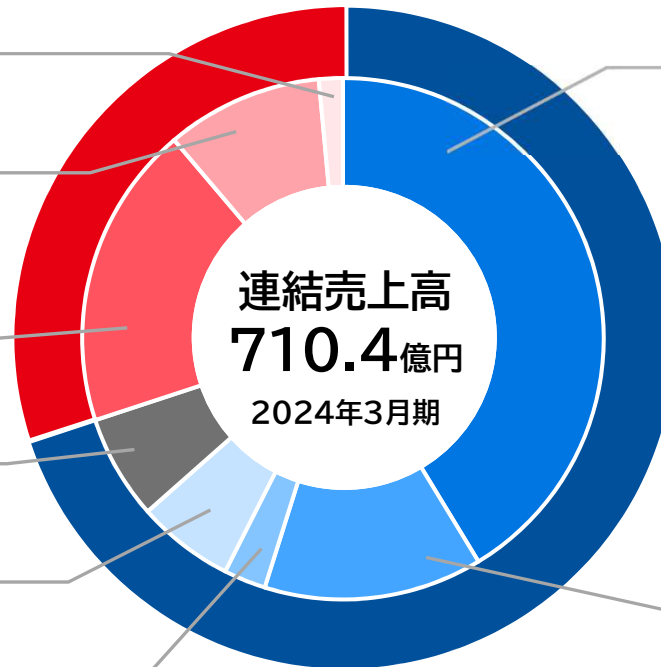
生産ラインで連続的に量産される工業製品に使用され、固有の条件に配慮して設計、開発した塗料  
(例:自動車用塗料)

### 【汎用塗料】

幅広く使用されている塗料  
(例:建築用塗料)

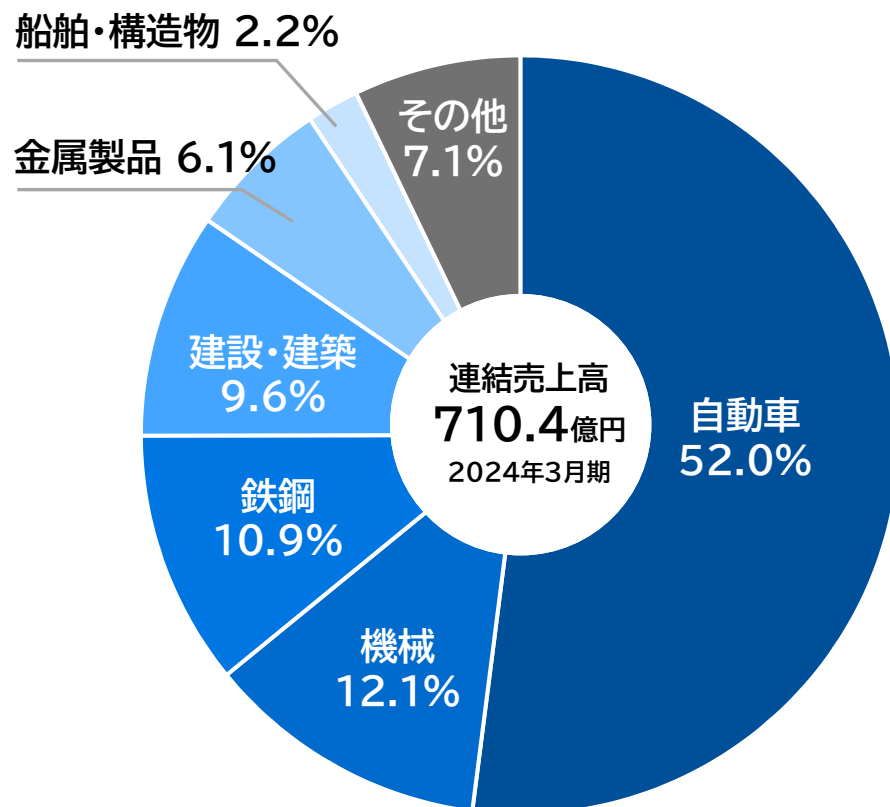
化成品・物資 13.5%

生産現場の課題解決に寄与する商品を提供  
(防音材、フィルム、接着剤、塗布型制振材ほか)

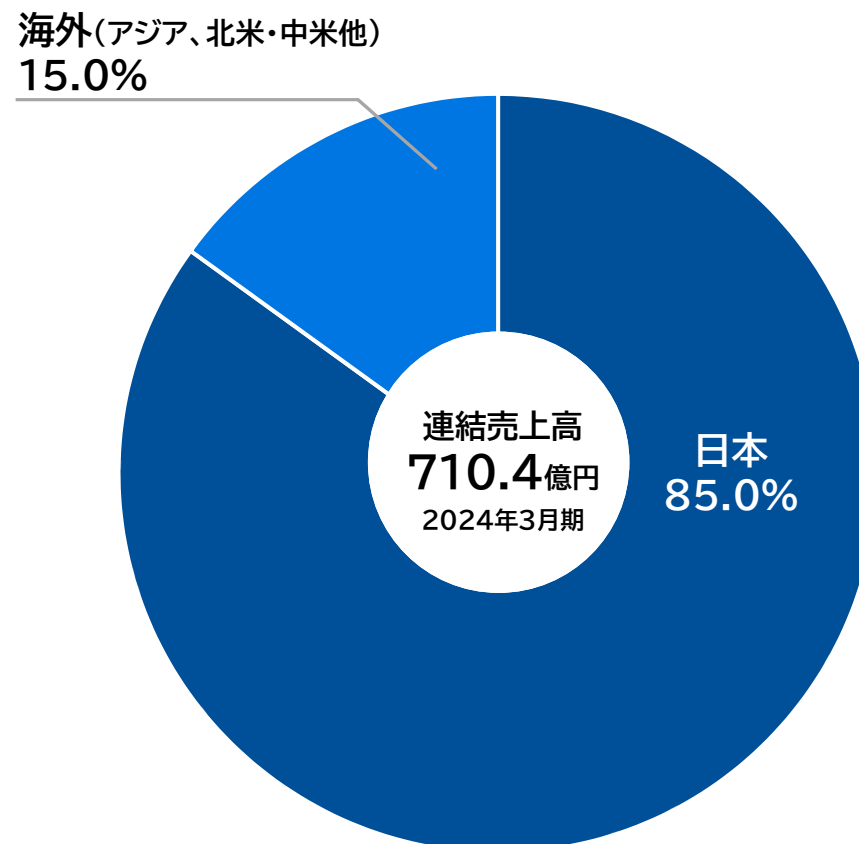


# 業種別・地域別売上構成

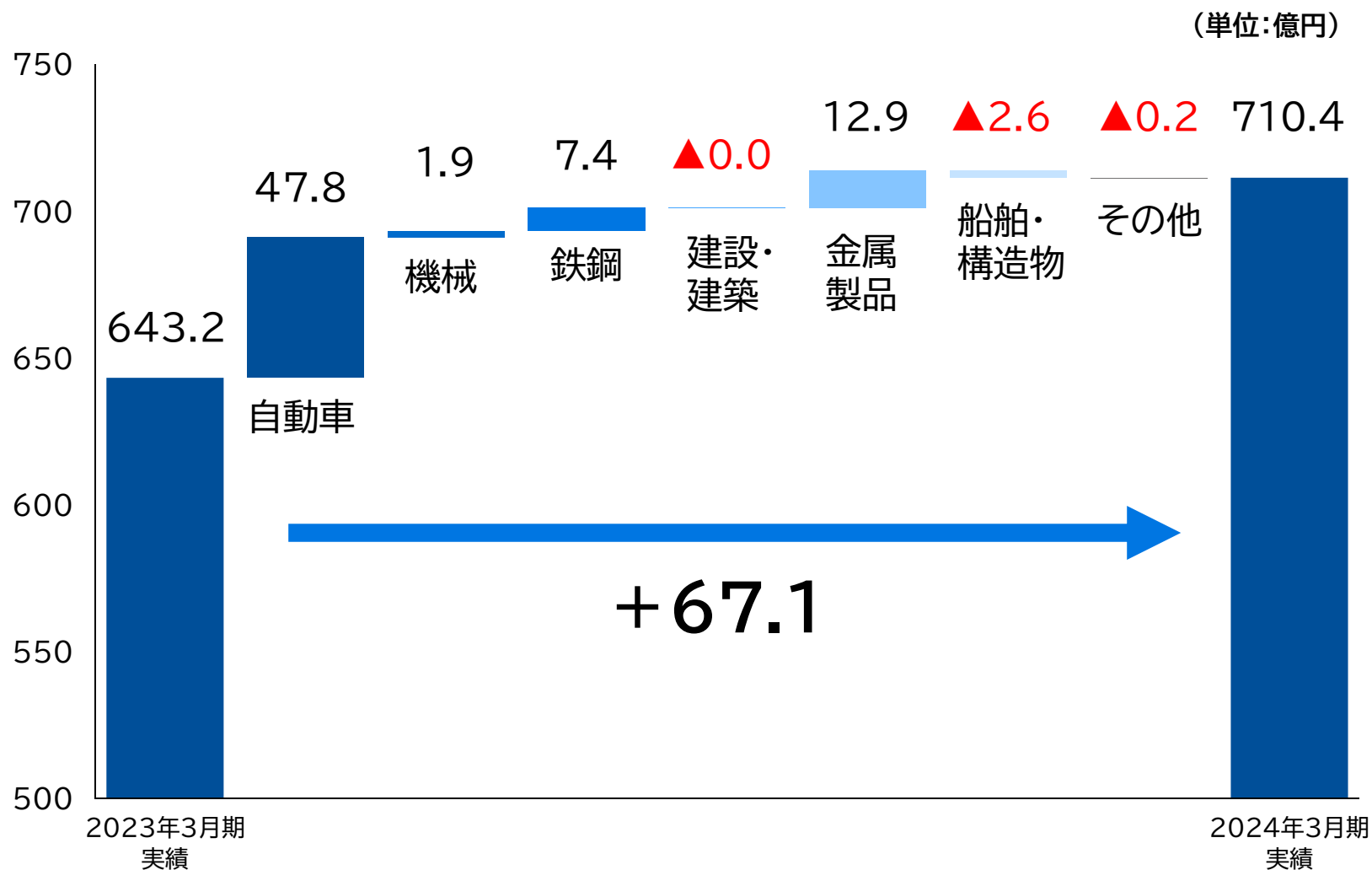
## ■業種別



## ■地域別



# 業種別売上高の増減(前期比)



※小数点第2位以下は切り捨て



# 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2023年 3月期実績	2024年 3月期実績	前期比 (差額)
<b>【資産の部】</b>			
流動資産	29,657	31,530	1,872
固定資産	15,812	16,895	1,082
(有形固定資産)	3,696	3,650	▲45
(無形固定資産)	478	395	▲82
(投資その他の資産)	11,637	12,848	1,211
<b>資産合計</b>	<b>45,470</b>	<b>48,425</b>	<b>2,955</b>
<b>【負債の部】</b>			
流動負債	21,978	22,790	812
固定負債	4,173	4,631	458
<b>負債合計</b>	<b>26,151</b>	<b>27,422</b>	<b>1,270</b>
<b>【純資産の部】</b>			
株主資本	13,211	14,448	1,237
その他の包括利益累計額	5,952	6,398	446
非支配株主持分	153	155	1
<b>純資産合計</b>	<b>19,318</b>	<b>21,002</b>	<b>1,684</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>45,470</b>	<b>48,425</b>	<b>2,955</b>
自己資本比率	42.1%	43.1%	0.9pt



# 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 実績	前期比 (差額)	主なポイント
営業活動による キャッシュ・フロー	563	1,919	1,356	期末休日影響による増加 (539百万円)
投資活動による キャッシュ・フロー	▲319	178	497	投資有価証券の売却と取得
財務活動による キャッシュ・フロー	▲332	▲121	210	
現金及び現金同等物に 係る換算差額	31	56	24	
現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少)	▲56	2,032	2,089	
現金及び現金同等物の 期首残高	4,416	4,360	▲56	
現金及び現金同等物の 期末残高	4,360	6,393	2,032	

---

## 3. 中期経営計画 **M/P**24-26

---

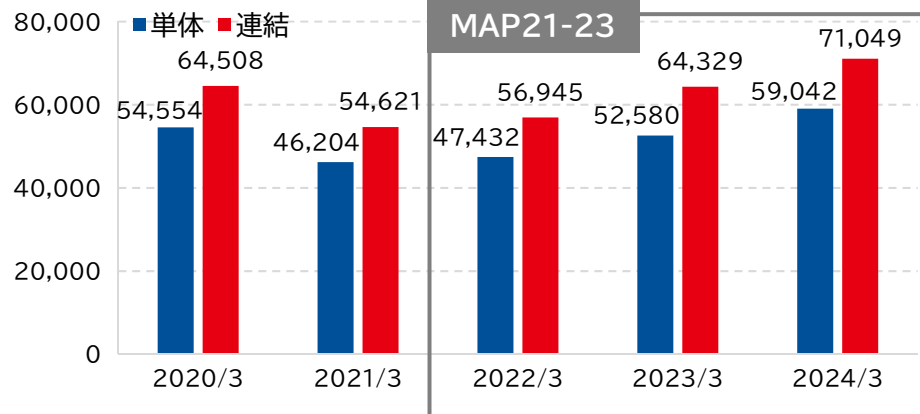
# MAP21-23中期重点方針の振り返り

<b>共通事項</b>	<b>マーケティング(需要創造)活動を強化する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・塗装工程以外のIoT化取組</li><li>・潜在課題の抽出～より広大な課題解決</li><li>・顕在課題の解決～テーマ化&amp;刈り取り</li></ul>
<b>塗料関連事業</b>	<b>提供価値を変革する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・OLDAS 塗装現場の高度化と省人化の実現</li><li>・塗膜形成技術による社会課題解決に向けた取り組み</li><li>・グローバルビジネスの拡大</li></ul>
<b>電気・電子部品事業</b>	<b>DXのトレンドを掴む</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・車載マーケット(CASE)に向けたテーマの創出</li><li>・新たなマーケットでの需要創造</li></ul>
<b>経営基盤</b>	<b>収益体質を強化する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・業務効率の改善、内部統制の強化</li><li>・社員の心身の健康増進</li><li>・カーボンニュートラル達成への取り組み</li></ul>

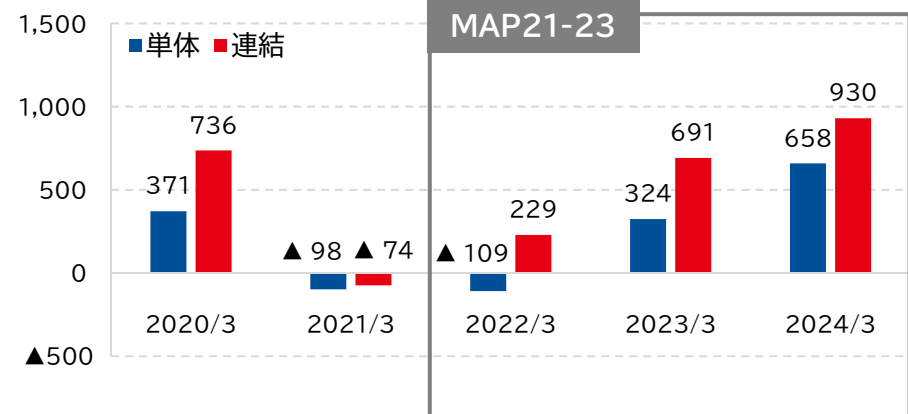


# 業績推移

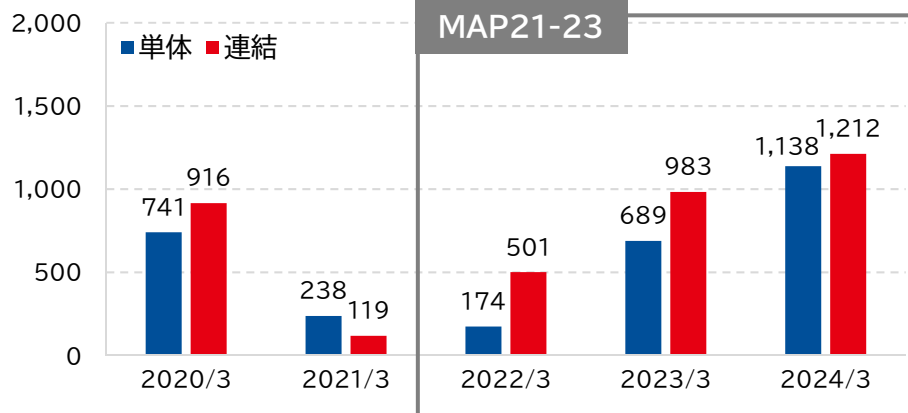
売上高 (百万円)



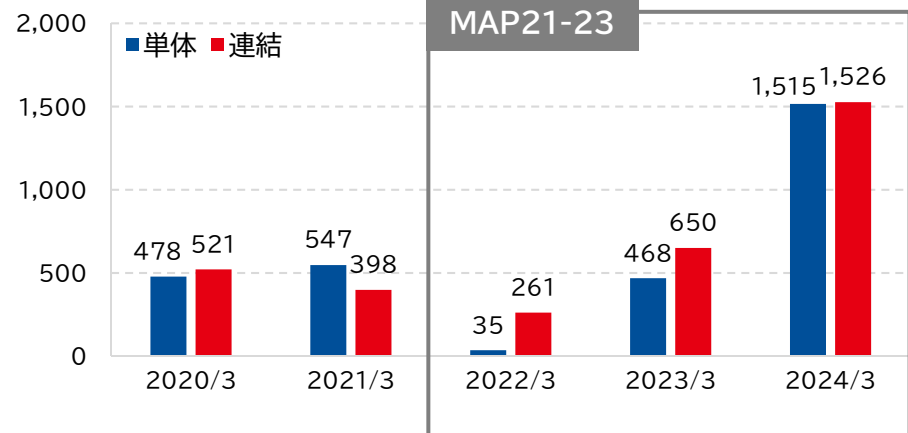
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



# 10年後の目指す姿

グローバルブランド



の樹立

ブランドを支える  
「柱」

- ▶ 信用力の継続
- ▶ 塗膜形成力の発揮
- ▶ 事業創造への挑戦

柱をつなぐ  
「梁」

- ▶ DX
- ▶ SX
- ▶ 人的資本の充実

# ビジョン

ものづくり現場の発展・進化をリードし、  
持続可能な世界の創造・実現に貢献する

- ものづくり現場の「DX」と「グローバル化」
- 「商材提供」型から、  
「ワンストップソリューション提供」型へ



# 内外環境の変化 【外部環境の変化】

1

## 経済環境

先進諸国の経済成長は鈍化～停滞する中で、  
開発途上国の成長は継続

2

## ものづくり現場

開発途上国では、日本のものづくり現場ノウハウに、  
プレゼンスあり

3

## 上場企業を取り巻く環境

稼ぐ力の持続化とESG経営への取り組みを両立する  
SXの実現に向けた説明～実践が求められる

# 内外環境の変化【内部環境の変化】

1

## 政策保有株式の縮減と成長投資の実行

ソフトウェアの開発・販売におけるパートナーシップ強化のため  
(株)ミックウェアの株式取得による資本提携

2

## 組織体制

組織については、顧客課題の抽出～解決を強化し、  
更なるテーマ生成・拡大のために、2021年度に  
改編した組織を継続する

グローバル展開では、インドに現地法人を設立、  
メキシコ、インドネシアは、それぞれ営業拠点を拡充

# 対処すべき課題

---

1

OLDAS(塗装現場管理システム)の実装による  
工業用塗装の省人化・高度化の具現

2

更なる機能発揮による付加価値の拡大～  
収益性の向上

3

グローバルビジネスの創出・拡大

4

資源投入の見直し～事業投資(M&Aを含む)の拡充

5

人的資本経営の実現

# 報告セグメントの名称変更

---

塗料関連事業



コーティング関連事業

電気・電子部品事業

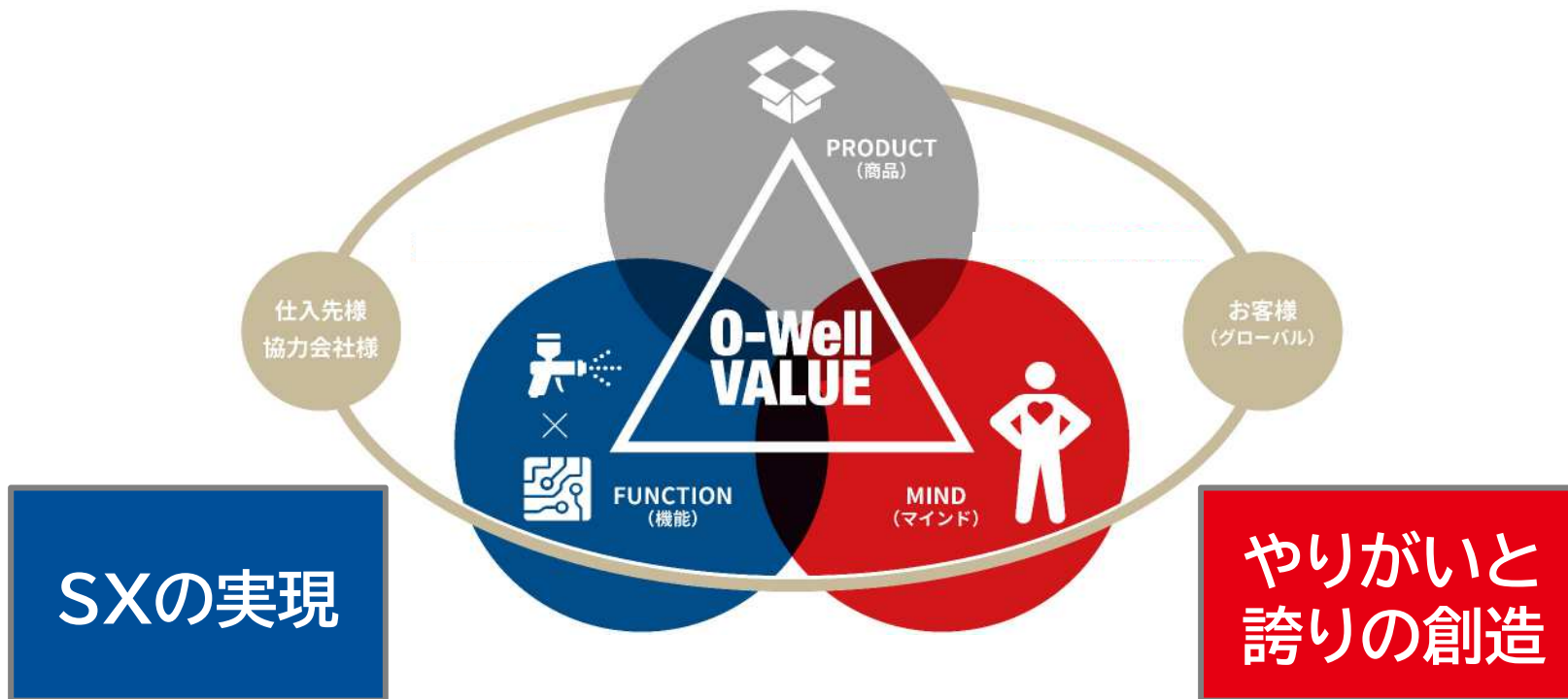


エレクトロニクス関連事業

「商材提供」型から、「ワンストップソリューション提供」型へ  
より広範囲の課題解決を目指す

# 中期経営方針

提供価値を革新し、創造する





# コーティング関連事業

## 中期重点方針

### コーティングの未来を創る

培ってきた塗膜形成力を核(コア)とした機能拡大を図ると同時に、未来のものづくりのイノベーションの中においても、我々の提供価値=ビジネス=利益を創る

## 中期重点方策

### 方策① 塗膜形成力を磨く



### 方策② 新たなコーティングビジネスを企画する



# エレクトロニクス関連事業

## 中期重点方針

### 提供価値を拡大する

これまで育んできたエレクトロニクス分野ビジネスで、我々の発揮する機能を、さらに付与し、さらに拡大する

## 中期重点方針

### 方針① センサービジネスを拡大する



### 方針② 新しい機能を付与する



## 中期重点方針

### 資本効率を向上する

今後も社会的責任を果たしながら、持続的な発展と成長を遂げるために、保有・調達する資源(人、もの、金、情報、時間、知的財産)を、適切かつ効率良く活用する

## 中期重点方針

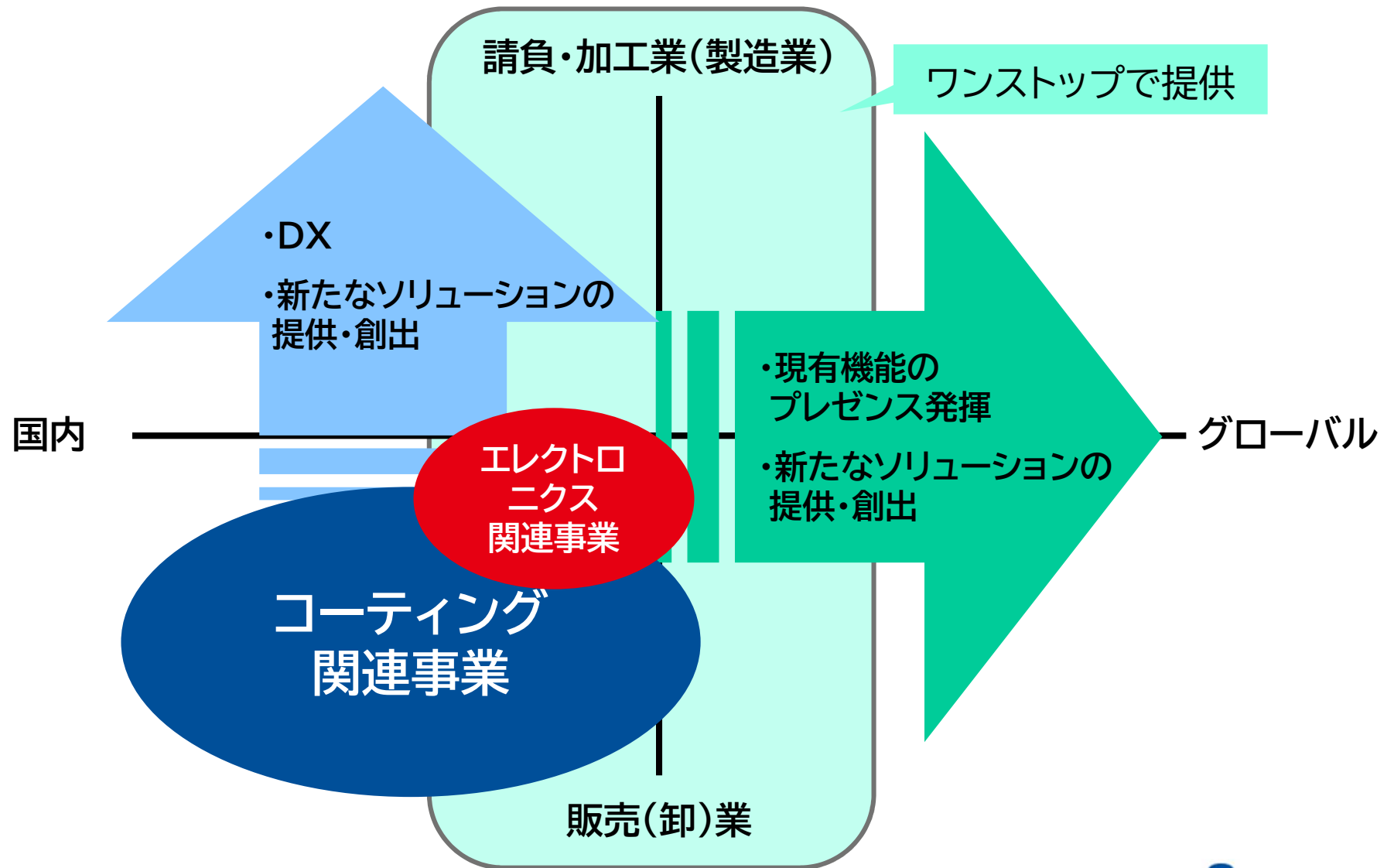
### 方針① 成長投資を実行する



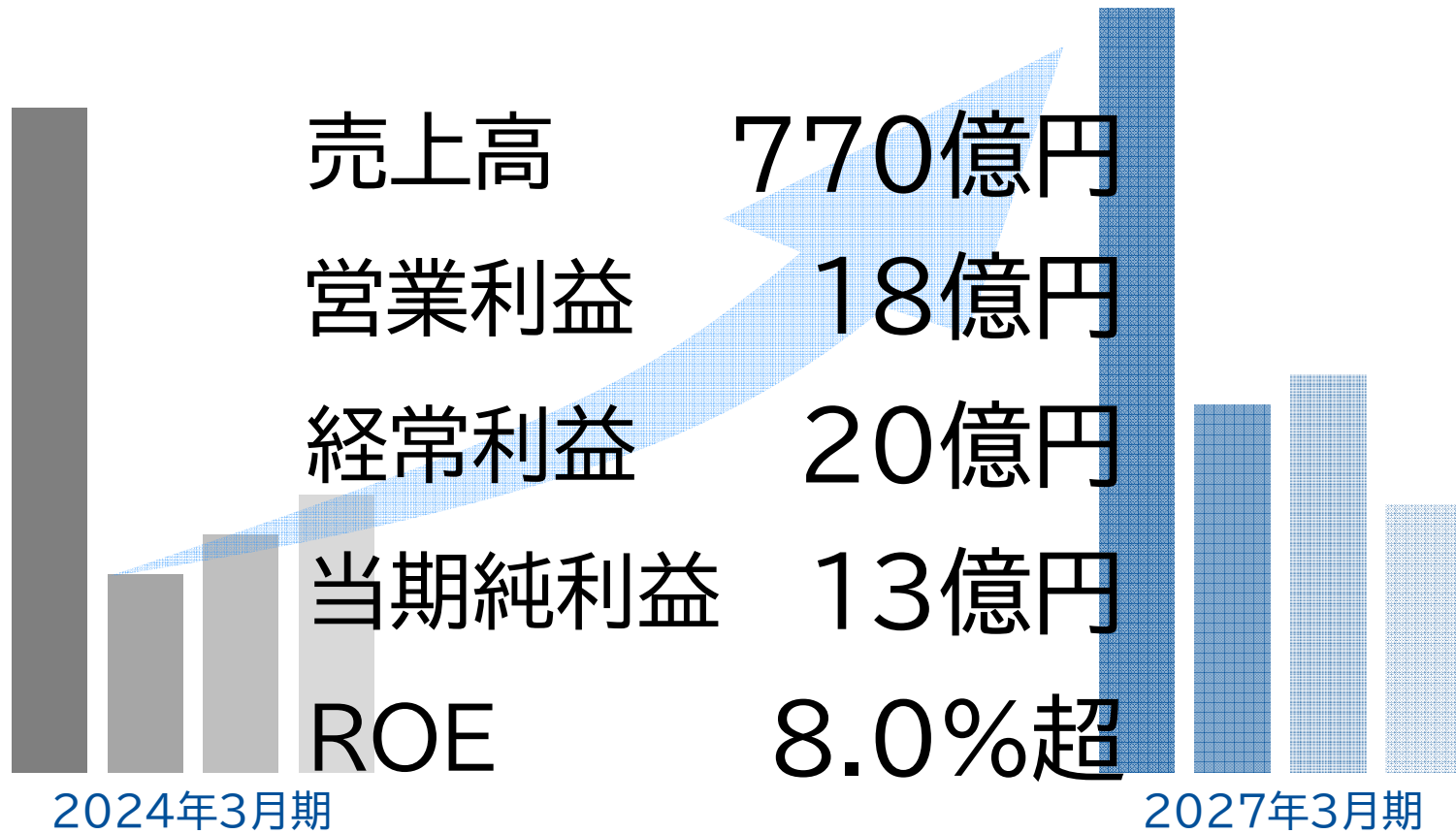
### 方針② 人的資本を充実する



# 当社グループの事業領域



# 2027年3月期目標(連結)



# 企業価値の向上(PBR1.0倍超)に向けて

《目標》 2027年3月期 ROE8.0%超

1

## 成長投資

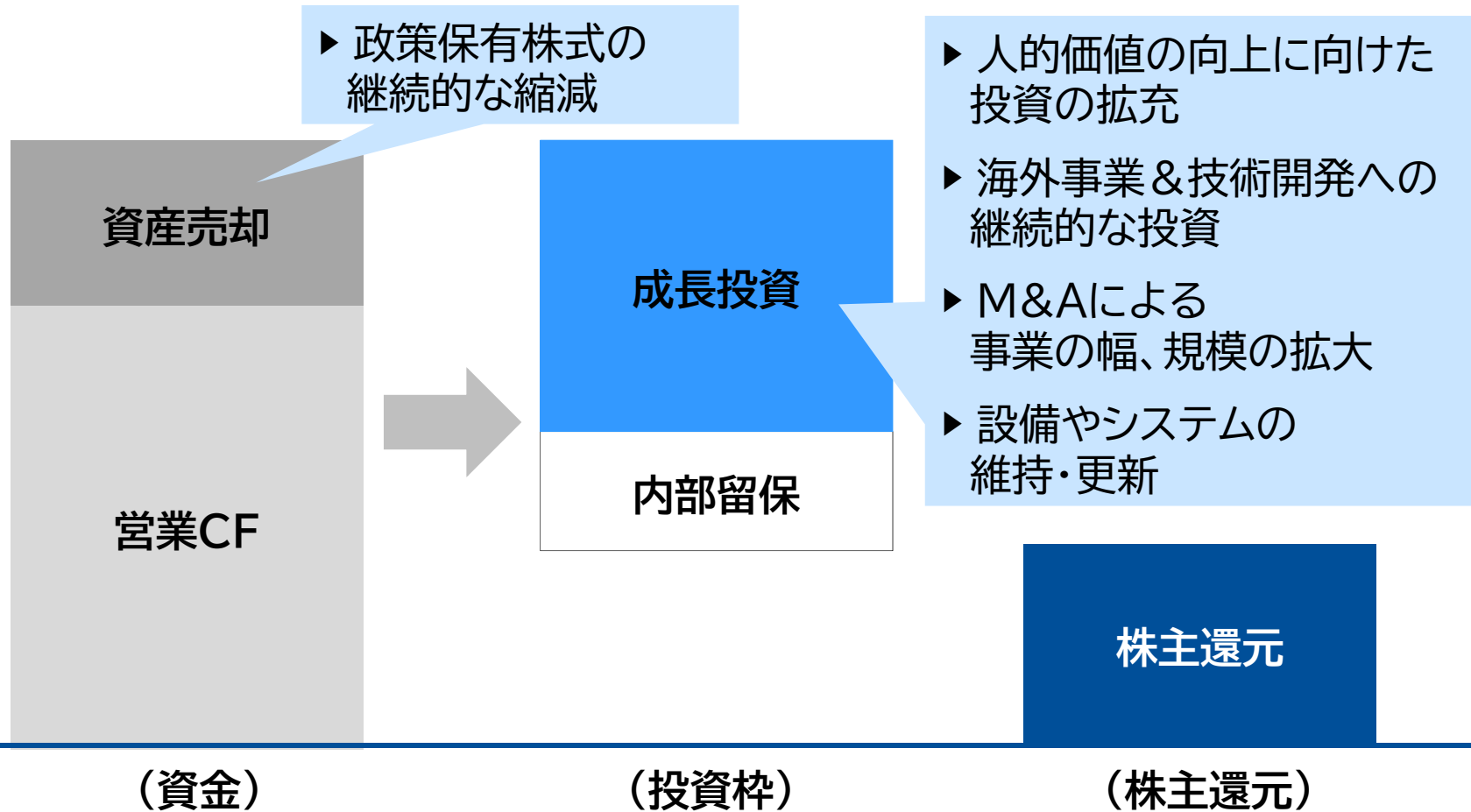
- ・人的価値の向上に向けた投資の拡充
- ・海外事業や技術開発への継続的な投資
- ・M&Aを含む成長事業への投資
- ・既存ビジネスの効率化～稼ぐ力の強化

2

## 財務戦略

- ・政策保有株式の継続的な縮減
- ・内部留保
- ・安定的かつ継続的な配当

# 成長投資、財務戦略の考え方



持続的な成長と企業価値の向上のため、財務体質の強化と事業拡大のための内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を実施していく。

# 人的資本の充実に向けて

人口減少／少子高齢化

従業員の意識の変化  
(働きやすさ重視)

従業員の意識の変化  
(キャリア志向・プロ化志向)

(優秀)人材の流動化

テクノロジーの進展  
(テレワーク・DX)



最適な人的ポートフォリオを  
描き、実現する

人的価値を最大限に引き出す  
ための人事制度を構築し、運用  
する



---

## 4. 2025年3月期の業績予想と配当

---

# ポイント

---

1

国内外の景気動向は、海外情勢や物価の上昇、世界的な金融引締めに伴う影響等により先行き不透明な状況が継続すると予想

2

売上高・営業利益・経常利益については、増収増益を見込む

3

中間配当は10円、期末配当は25円とし、年間配当は普通配当ベースで3円増の35円を予想

# 2025年3月期 連結業績予想

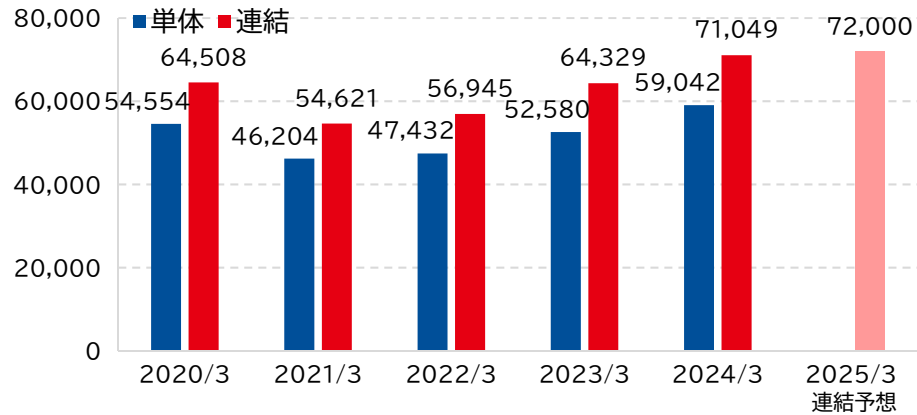
(単位:百万円)

	2024年 3月期 実績	2025年3月期予想		前期比 (差額)	前期比 (増減率)
		第2四半期 (累計)予想	通期予想		
売上高	71,049	34,000	72,000	951	1.3%
営業利益	930	400	1,150	220	23.6%
経常利益	1,212	550	1,350	138	11.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,526	350	900	▲626	▲41.0%
一株当たりの 当期純利益(円)	149.37	34.25	88.06	▲61.31	
配当(円)	42 (中間10/期末32※)	10	35 (中間10/期末25)	▲7	

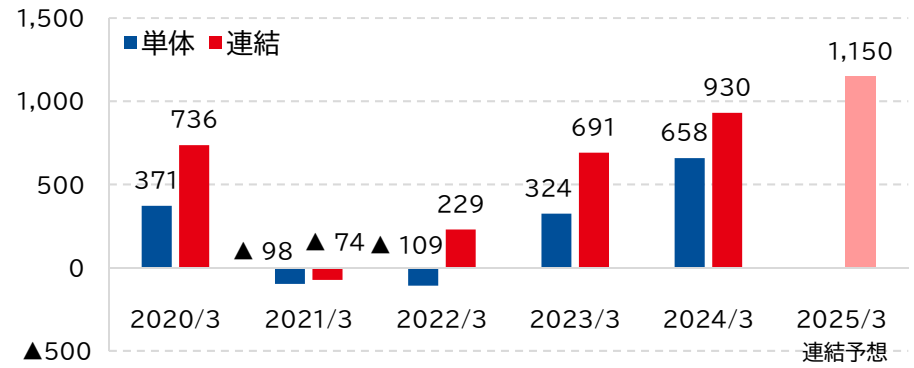
※期末配当の内訳  
 …普通配当22/記念配当10

# 業績推移

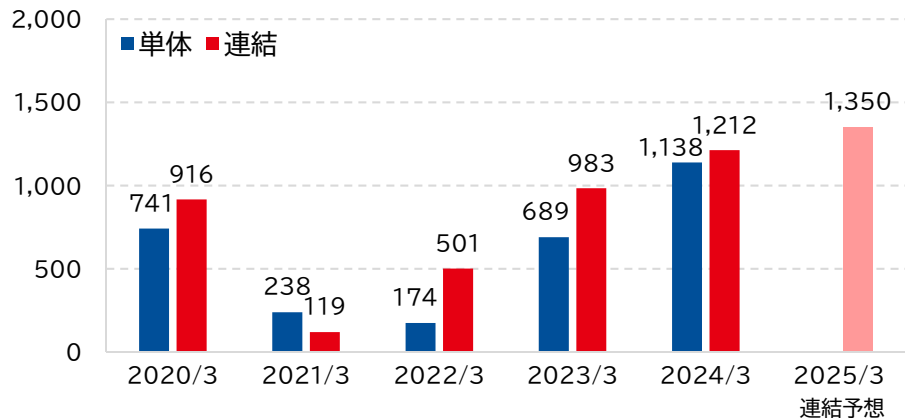
売上高 (百万円)



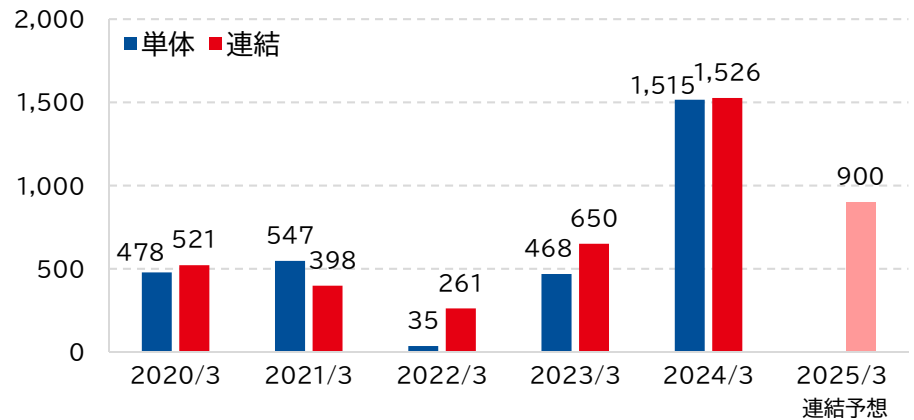
営業利益 (百万円)



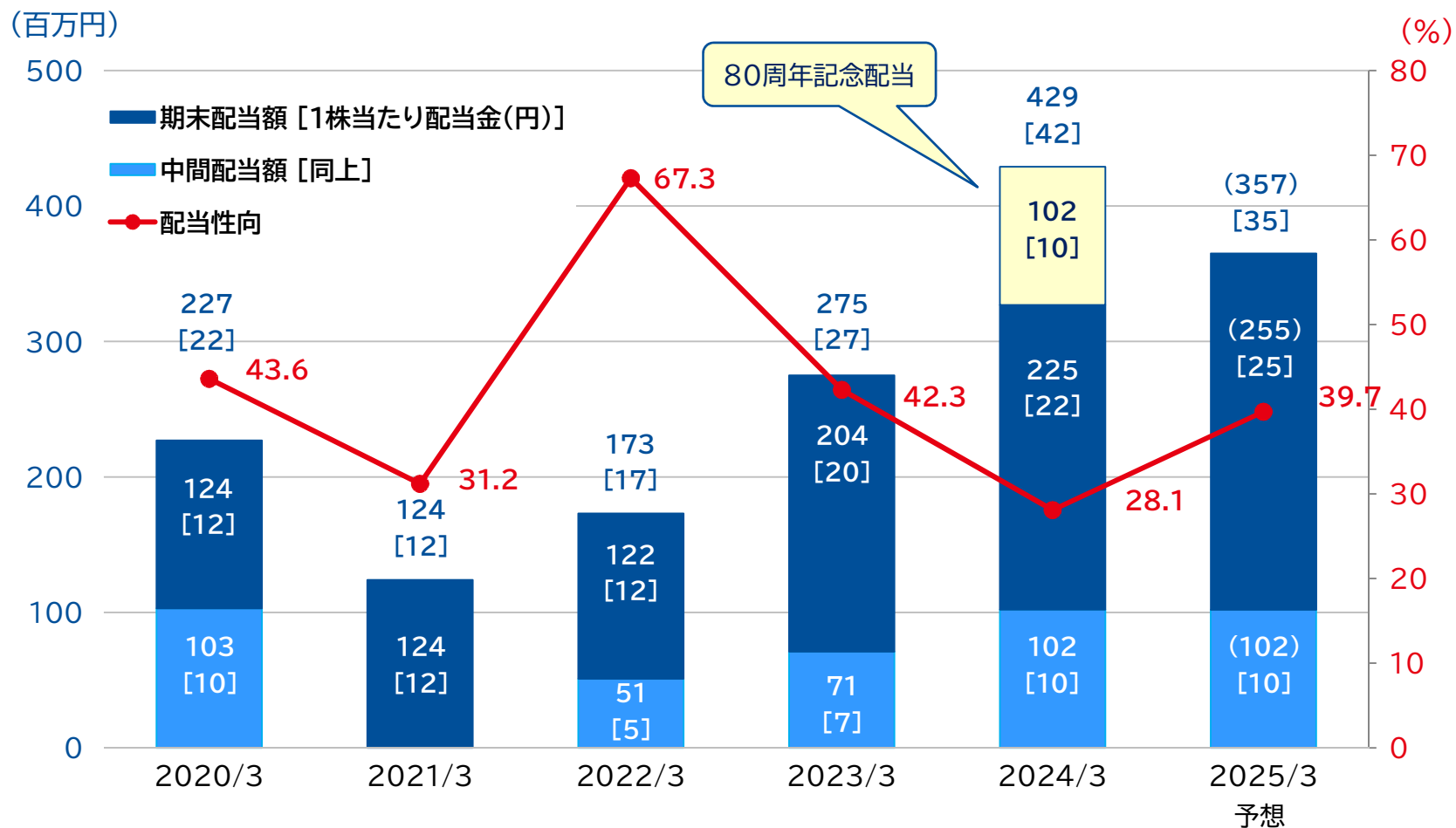
経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



# 配当



※2025年3月期予想につきましては、2024年3月期の期末発行済み株式数（自己株式を除く）にて算出しております。

---

# Appendix

---

# 当社の概要

工業用塗料販売で国内トップクラスのコーティング関連事業を主として、  
自動車向け半導体部品やソフトウェア等を扱うエレクトロニクス関連事業を  
グローバルに展開する生産財商社

商号	オーウエル株式会社 O-WELL CORPORATION
設立	1943年11月
所在地	● 本社:大阪市西淀川区御幣島5-13-9 ● 東京:東京都品川区北品川3-6-17
資本金	8億5,786万円
代表者	代表取締役社長 川戸 康晴
セグメント	● コーティング関連事業 ● エレクトロニクス関連事業
従業員数	連結:636名 (2024年3月末現在) [98名] ※ [ ]は平均臨時雇用人員で外数
関係会社	● 連結子会社:17社 ● 持分法適用関連会社:4社

# 拠点

## 国内拠点

全国各地に広がるネットワーク(46拠点※)



本社(大阪市西淀川区) 東京店(東京都品川区)

※ 営業所、子会社、子会社の支店  
及び工場等の拠点を含む



## グループ会社

- **サンマルコ株式会社**  
塗装工事、防水工事、ガラス工事、  
内装仕上工事等の請負及び設計・監理
- **オーウエルスーパービルド株式会社**  
塗装工事、土木工事、とび・土工工事等の請負及び設計・監理
- **オー・エー・シー株式会社**  
建設機械、産業用ロボット等の塗装請負
- **株式会社オーウエルカラーセンター**  
塗料の調色請負・塗板見本の製作受託
- **大洋ケミカル株式会社**  
塗料の調色請負
- **ユニ電子株式会社**  
ソフトウェア・半導体・集積回路・電子部品の販売・輸出入

## 海外拠点

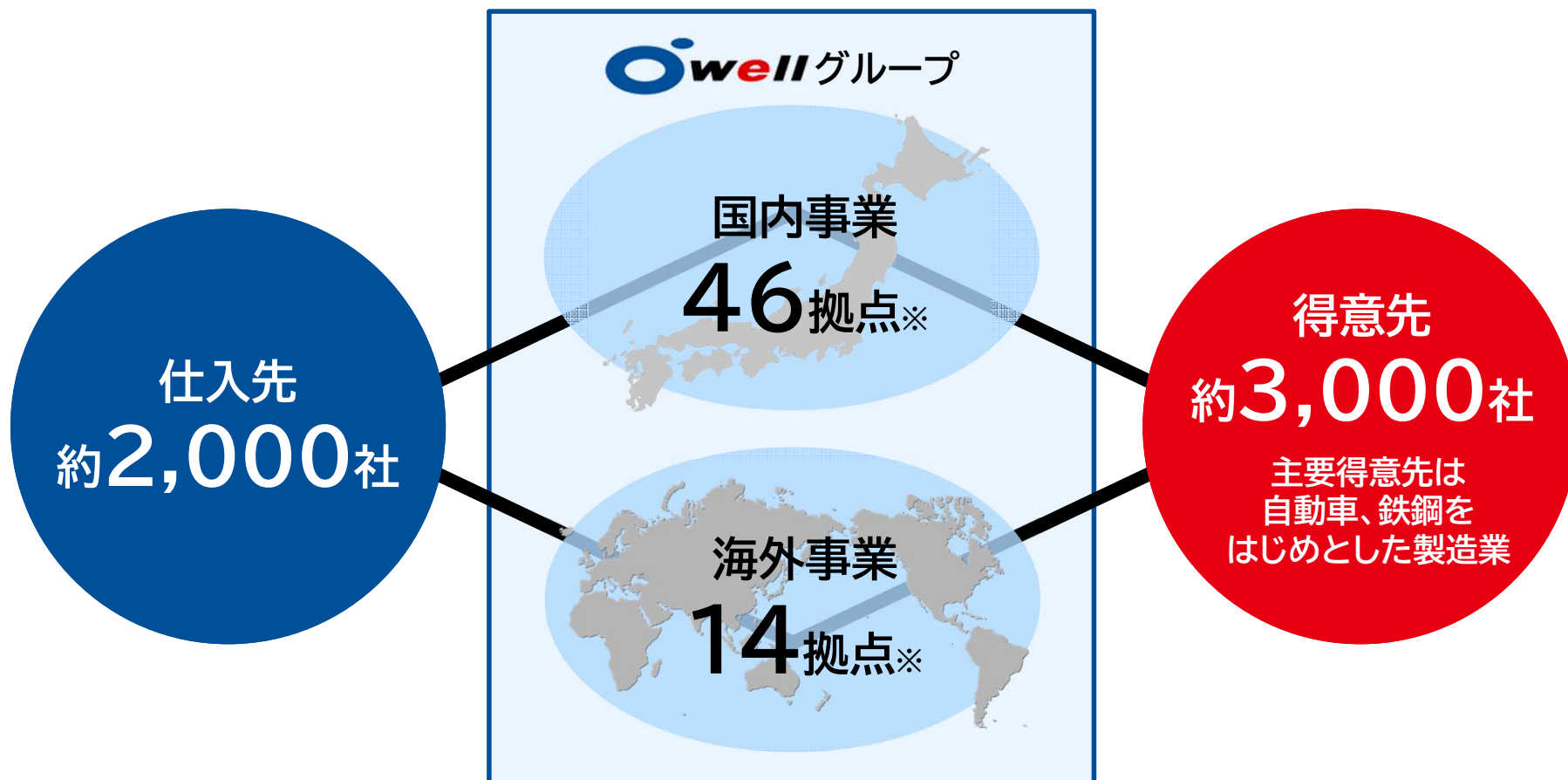
- **中国**  
奥唯(大連)貿易有限公司  
奥唯(上海)貿易有限公司  
奥唯(深圳)科技貿易有限公司
- **韓国**  
O-WELL KOREA CORPORATION
- **インドネシア**  
PT. O WELL INDONESIA
- **タイ**  
O-WELL (THAILAND) CO., LTD.
- **ベトナム**  
O-WELL VIETNAM CO., LTD.
- **メキシコ**  
O-WELL MEXICO COATINGS & ELECTRONICS  
S.A. DE C.V.
- **インド**  
O-WELL INDIA COATINGS & ELECTRONICS  
PRIVATE LIMITED
- **シンガポール**  
UNI-ELECTRONICS PTE LTD.
- **香港**  
UNI-ELECTRONICS (HONG KONG) LTD.





# 安定した事業基盤

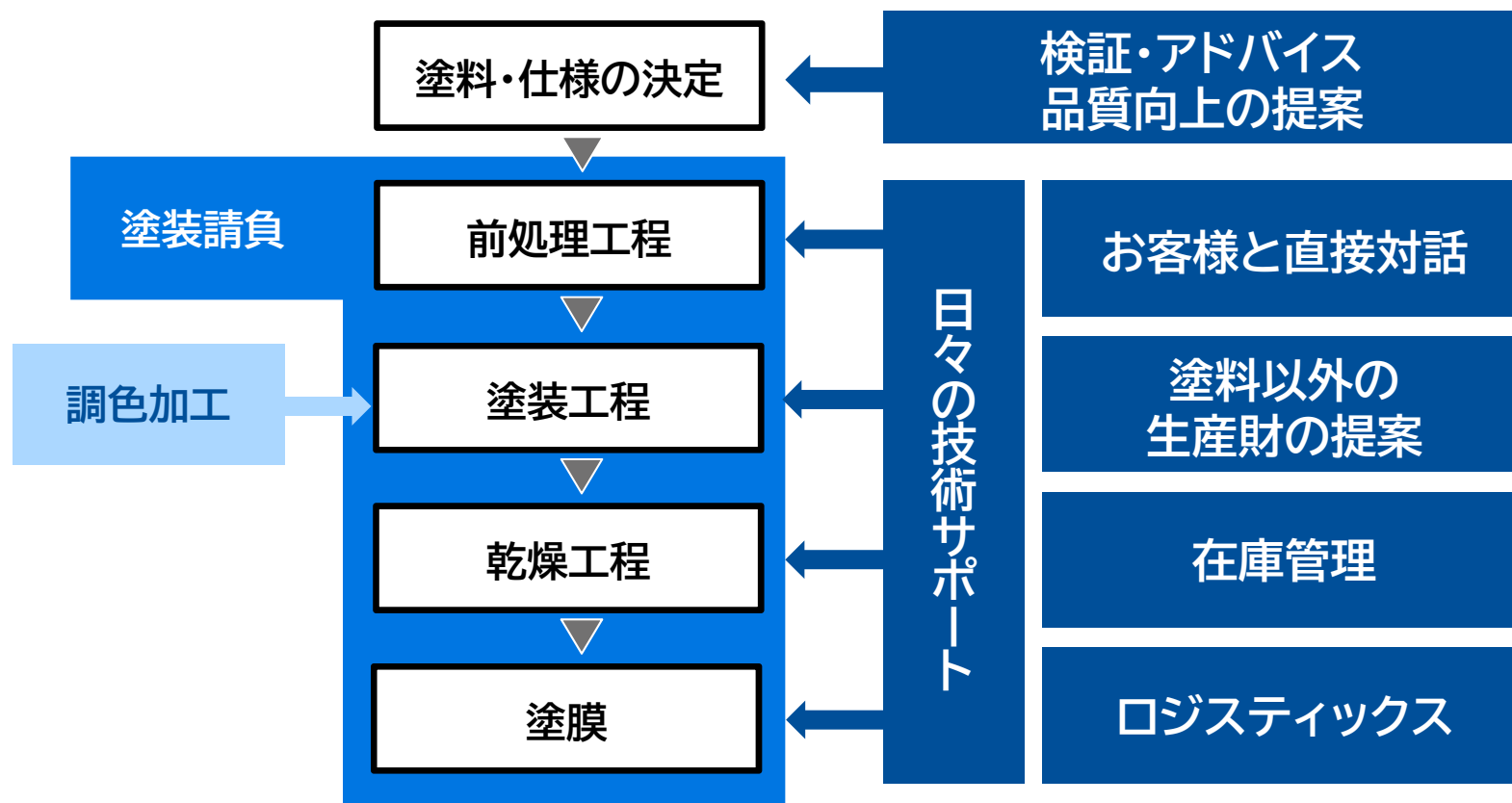
80年の歴史を重ねた信頼・信用に基づく多くの取引先



※ 営業所、子会社、子会社の支店及び工場等の拠点を含む

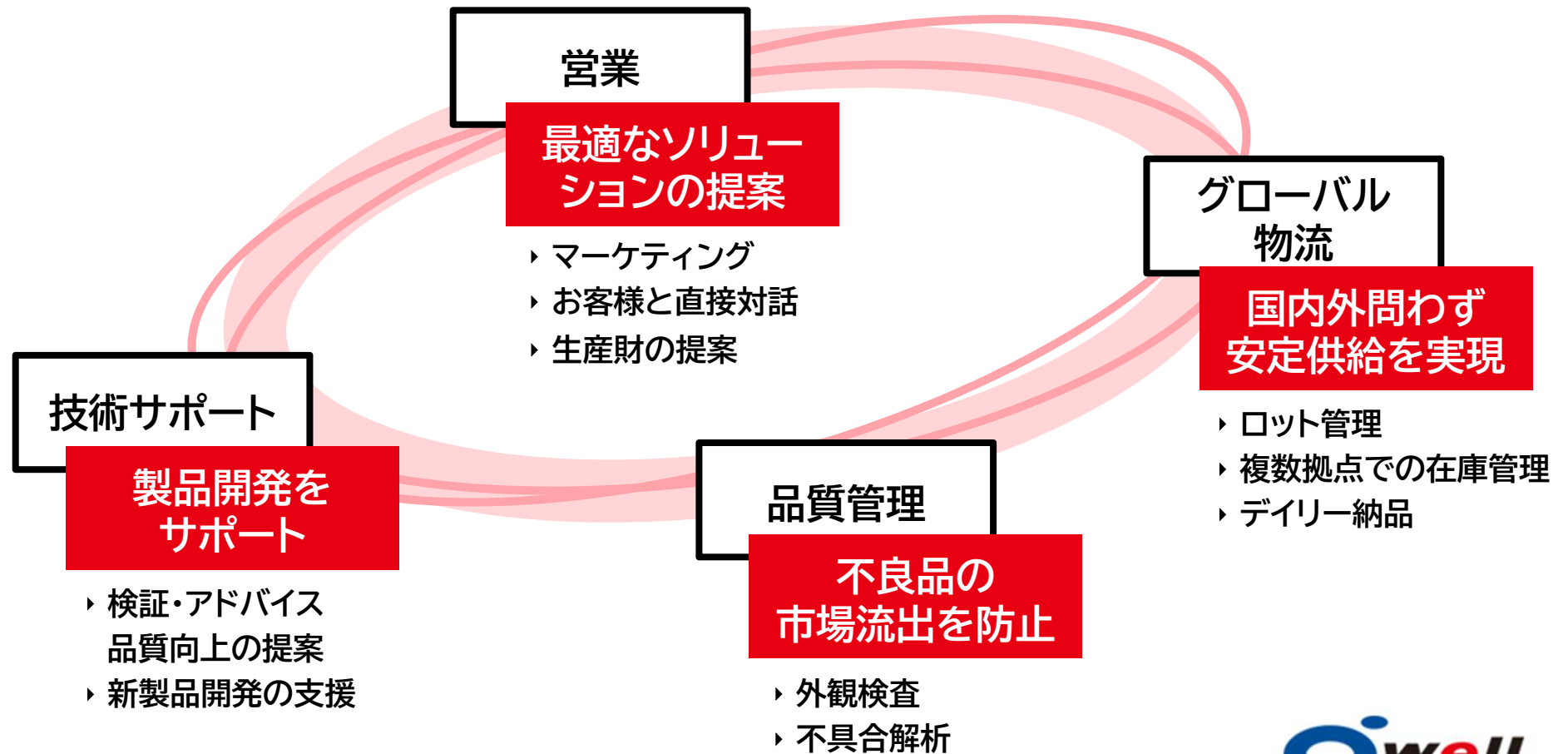
# 【強み】 商社の枠を超えた事業展開

ものづくり企業のプロセスの幅広い工程で価値提供が可能



# 【強み】 商社の枠を超えた事業展開

ものづくり企業のプロセスの幅広い工程で価値提供が可能



# 【強み】 長年培ってきた課題解決力

さまざまな環境・条件においても最適な材料・工法を提供

- 厳しい水準が求められる業界で  
長年培ってきた技術力を多方面へ展開



自動車の塗装工程イメージ

- 航空宇宙品質マネジメントシステム規格  
AS/EN9120(※)認証を取得

※ ISO9001要求事項に航空、宇宙及び防衛分野についての  
要求事項を追加した、物流業者や商社向けの規格

適用範囲:東京店の一部及び栃木営業所

品質マネジメントシステム ISO9001  
環境マネジメントシステム ISO14001認証も取得済み



2020年7月16日 IRニュース

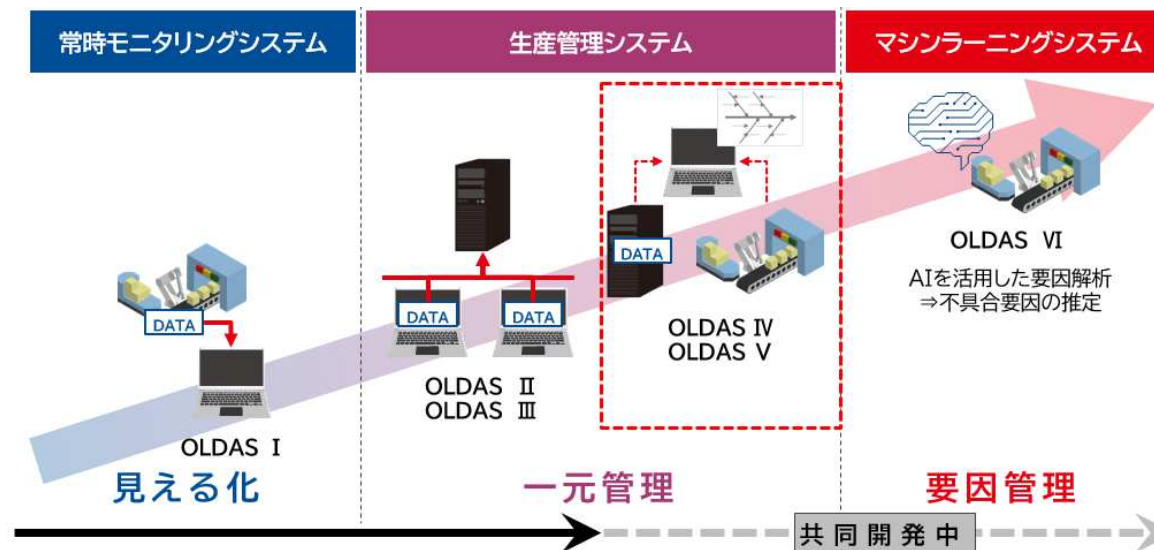
# MAP21-23 取り組み事例①

塗料関連事業

提供価値を変革する

## OLDAS～塗装現場の高度化と省人化の実現～

- ▶ 現在の共同開発先との成果 『トレーサビリティの実現』
- ▶ リアルタイムで複数のパラメータを一元管理
- ▶ 不具合調査に掛かる時間を大幅に削減



# MAP21-23 取り組み事例②

塗料関連事業

提供価値を変革する

## 社会課題解決に向けた取り組み

- ▶ リブレット形成技術の航空機への実装  
(JAL・JAXA・オーウエルの共同開発)
- ▶ 当社の塗膜形成技術で空飛ぶクルマの開発を支援  
(SkyDrive社とサポーター契約締結)
- ▶ 環境負荷低減(CN)に向け、  
粉体塗料の廃粉リサイクルにおける製造工法の検証開始

今回の施工箇所 ※当社の施工方法による

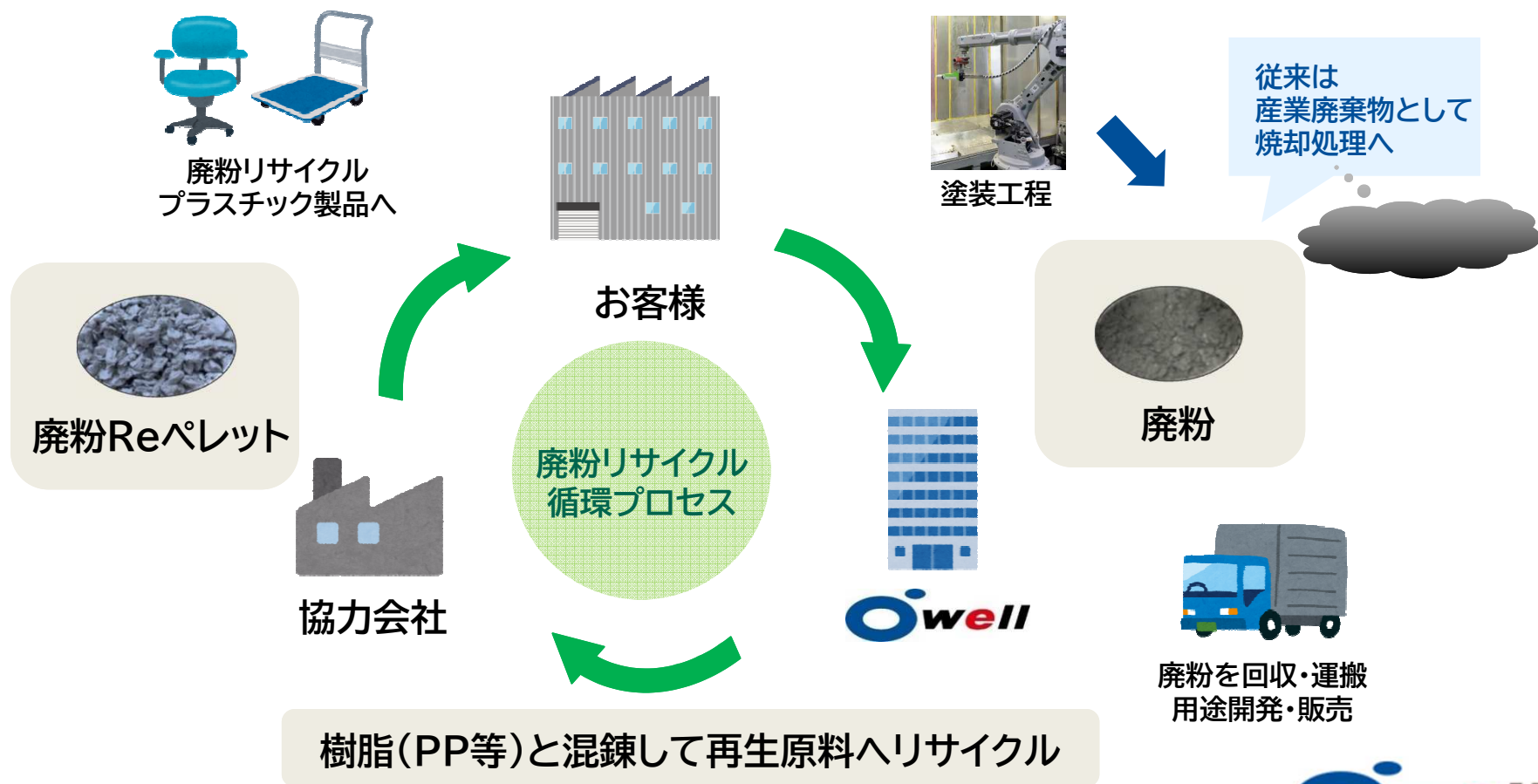


# MAP21-23 取り組み事例③

塗料関連事業

環境配慮商品の推進

## 粉体塗料の塗装工程で出てしまう廃粉のリサイクル構想



# MAP21-23 取り組み事例④

塗料関連事業

提供価値を変革する

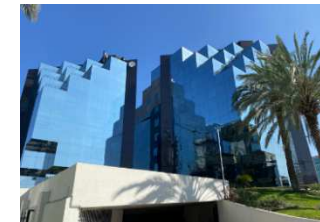
## グローバルビジネスの拡大

### ▶ メキシコ

O-WELL MEXICO COATINGS & ELECTRONICS S.A. DE C.V.

ヌエボ・レオン州 モンテレイにモンテレイ支店を開設

※2023年8月21日開示



### ▶ インド

O-WELL INDIA COATINGS & ELECTRONICS PRIVATE LIMITED

ハリヤーナー州 グルグラムに子会社を設立

※2023年9月14日開示



### ▶ インドネシア

PT. O WELL INDONESIA C.V.

東ジャワ州 スラバヤ市にスラバヤ支店を開設

※2023年12月15日開示





# MAP21-23 取り組み事例⑤

電気・電子部品事業

DXのトレンドを掴む

## 車載マーケット(CASE)に向けたテーマの創出

- ▶ CASE、特にAの自動運転、Eの電動化領域で採用が広がる  
マイクロコントローラ テクノロジー  
(モータに小さなICチップを組み込み、制御する技術)
- ▶ 2024年度より納入開始決定



# MAP21-23 取り組み事例⑥

電気・電子部品事業

DXのトレンドを掴む

## 新たなマーケットでの需要創造

- ▶ 物流IoTソリューション「わりあてくん」を国内外で提供
  - ・ IoT技術を活用し、物流業務の「見える化」「自動化」「デジタル化」を実現
  - ・ データを活用し、「業務の最適化・改善」「労務管理」をサポートするサービスを提供
- ▶ プール遊泳者監視システム「nagi」の販売  
プールの遊泳状況を把握し安全性を向上するとともに、遊泳データや利用状況の可視化を実現

◆第4回 関西物流展に出展  
(4月12日~14日)



◆監視体制の強化

遊泳者が水没すると電波が遮断され、監視員のスマートウォッチと事務所のタブレットに通知  
⇒早期発見・早期対応



ランディングページURL <https://nagi-smart-pool.jp/>



# MAP21-23 取り組み事例⑦

経営基盤 収益体質を強化する

## 業務効率の改善、内部統制の強化

## 社員の心身の健康増進

- ▶ 経済産業省 健康経営優良法人2024認定
- ▶ スポーツ庁 スポーツエールカンパニー2024認定
- ▶ ワークライフマネジメント実現のための制度の整備

## カーボンニュートラル達成への取り組み

- ▶ 温室効果ガスの削減を目指し排出量の算定を実施
- ▶ 環境貢献商品の拡販



# 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

## 免責事項

- この資料は皆様の参考に資するため、オーウエル株式会社(以下、当社という)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済、社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

## 将来見通しに関する注意事項

- 本資料につきましては皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statement)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新、修正を行う義務を負うものではありません。

## お問い合わせ先

- 執行役員 総務部・品質保証部 担当 秋谷 浩史  
TEL: 06-6473-0138

**Ö***well*

